

さいたま市放課後子ども居場所事業・民設放課後児童クラブ整備促進事業・ 余裕教室等を活用した放課後児童クラブ整備事業

令和6年度当初予算市長査定資料
令和6年1月9日・子ども未来局
(子育て未来部幼児・放課後児童課)

背景・目的

●待機児童の解消

増加する利用ニーズに対して民設放課後児童クラブの整備が追いつかず、R5.5.1時点の**待機児童数は329人**となっており、早期の解消が必要。

●保護者負担の軽減

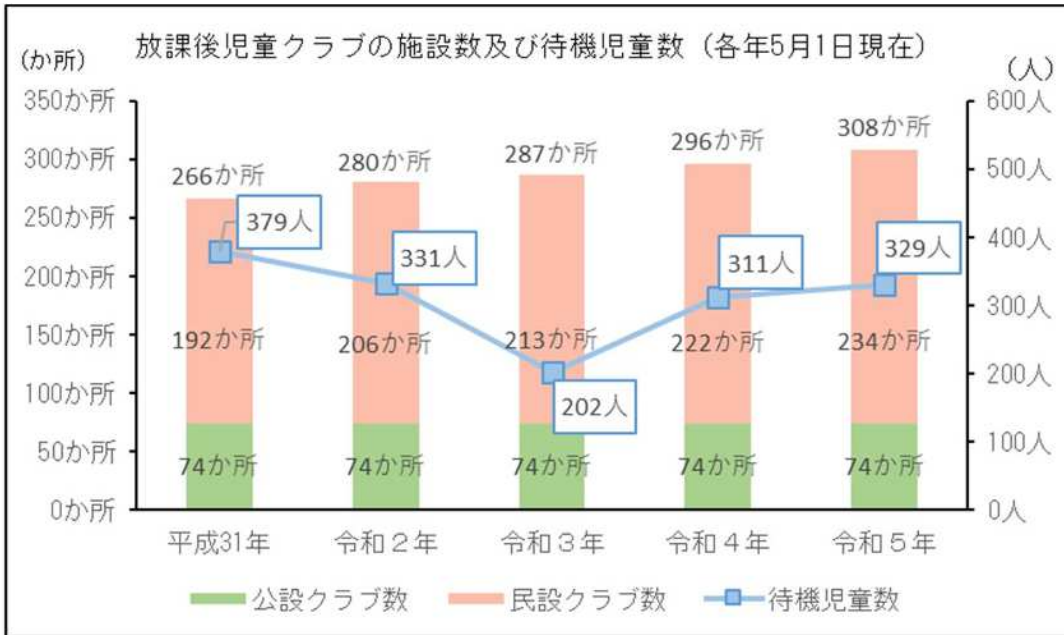
民設放課後児童クラブを運営する事業者のうち、**半数以上が保護者会による運営**であり、クラブ運営に係る保護者負担の軽減が必要。

●多様なニーズへの対応

夏休みのみの利用や**スポット**の利用など多様なニーズへの対応が必要。

●安心・安全な放課後の居場所の提供

児童や保護者にとって**最も身近な小学校を活用**することで、安全・安心な放課後の居場所を提供する。



3事業を組み合わせた待機児童解消対策の方向性

民設放課後児童クラブ整備促進事業

子ども居場所事業を全市展開するまでの**喫緊の待機児童解消**のため、民設放課後児童クラブを新設する。

R6 R7年に待機児童の発生が見込まれる学区への民設クラブの整備

余裕教室等を活用した放課後児童クラブ整備事業

小学校の余裕教室等を活用した施設整備を行うことにより、**待機児童解消**と**育成支援の環境向上**を図る。

R6 余裕教室を活用し放課後児童クラブ室を整備

放課後子ども居場所事業

利用を希望する全ての児童を対象に、**最も身近な小学校の施設**を活用して、多様な体験や異年齢間の遊びを通じた交流ができる**安心・安全な放課後の居場所を提供**する。

R6 4校におけるモデル事業の実施

事業を実施する上での課題

居場所事業のモデル校の検証と(仮)整備基本方針の作成
民設放課後児童クラブへの経過的な支援の検討
中長期的な財政負担の見通しと削減方策の検討

さいたま市放課後子ども居場所事業・民設放課後児童クラブ整備促進事業・ 余裕教室等を活用した放課後児童クラブ整備事業

令和6年度当初予算市長査定資料
令和6年1月9日・子ども未来局
(子育て未来部幼児・放課後児童課)

民設放課後児童クラブ整備促進事業

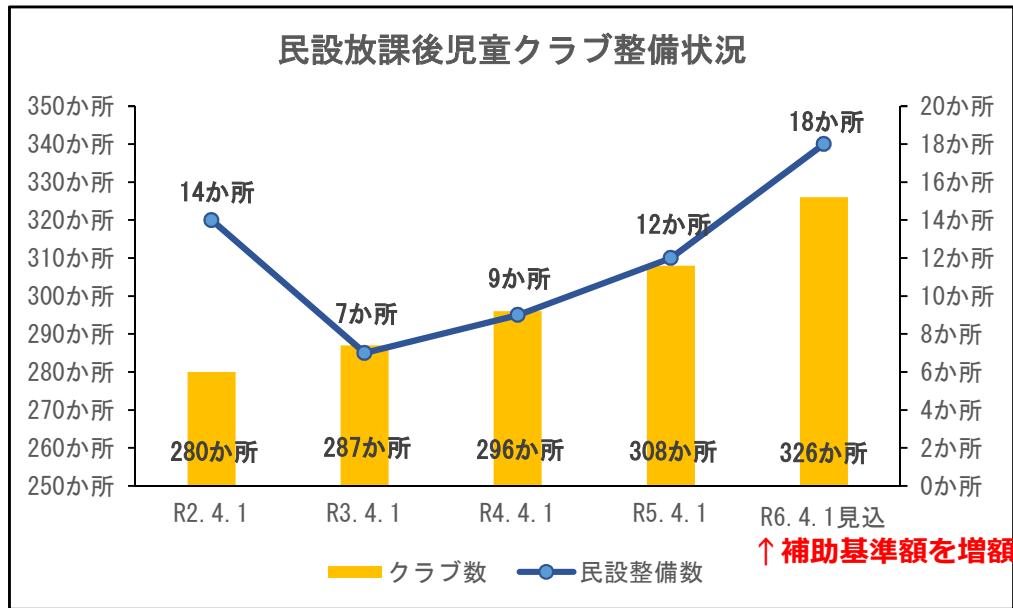
要求額 25,018千円 (一般財源 8,340千円)

●新設

要求額 15,285千円 (一般財源 5,095千円)

R7.4.1に待機児童が生じる見込みの学区のうち、**運営事業者との調整が進んでいる5カ所**に民設クラブを新設。

一施設あたり3,057千円×5カ所=15,285千円
(内訳)・施設改修費、消耗品費備品購入費、賃借料



●移転

要求額 5,733千円 (一般財源 1,911千円)

●既存改修

要求額 4,000千円 (一般財源 1,334千円)

●今後のスケジュール

当初予算要求の5カ所以外のR7.4.1に待機児童の生じる見込みの学区は、運営事業者と調整が付き次第、補正予算等を含め、予算措置を検討。

余裕教室等を活用した放課後児童クラブ整備事業

要求額 72,881千円 (一般財源 5,231千円)

●事業実施の状況

《近年の整備状況》

工事年度	平成29年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
整備校	馬宮西小 (30名 52,649千円)	片柳小 (40名 43,780千円) 田島小 (48名 27,404千円) 常盤北小 (43名 28,380千円) 仲町小 (30名 23,254千円)	大宮東 (41名 68,651千円)	泰平小 (44名 31,042千円) 大宮別所小 (34名 24,992千円)	与野八幡小 (40名 35,838千円) 辻小 (32名 34,098千円) <small>※定員は予定 ※工事費は契約金額</small>

●整備校の選定

- ・学区ごとの需要推計を踏まえ、教育委員会・整備候補校と協議の上、選定。
- ・校舎仕様、教室配置、既存設備配置等により必要な改修内容は様々。

●向小学校改修工事 (令和7年4月開設予定)

要求額 改修工事費等 41,201千円 (一般財源 2,971千円)

- ・令和7年度に民設放課後児童クラブの待機児童が発生する見込みのため整備。
- ・**オープンタイプの教室配置**を採用した校舎という特性等を踏まえ、学校と協議・調整を重ねてきた結果、通常の工事内容の他に**壁等の新設**が必要。

●善前小学校改修工事 (令和7年4月開設予定)

要求額 改修工事費等 31,680千円 (一般財源 2,260千円)

- ・令和7年度に待機児童が発生する見込みのため整備
- ・可能な限りの既存の学校設備を共用するため最低限の改修

●今後のスケジュール

改修工事費用の抑制のため、可能な限り学校施設の設備等を共有するほか、ロッカーや家具等は既製品を活用すること等、工事内容を見直し予定。
また、今後の待機児童数の状況や放課後子ども居場所事業の動向等を踏まえ、余裕教室等を活用した専用室等の整備に必要な設計費用は、補正予算等を含め、予算措置を検討。

さいたま市放課後子ども居場所事業・民設放課後児童クラブ整備促進事業・ 余裕教室等を活用した放課後児童クラブ整備事業

令和6年度当初予算市長査定資料
令和6年1月9日・子ども未来局
(子育て未来部幼児・放課後児童課)

放課後子ども居場所事業

要求額 90,186千円 (一般財源 33,622千円)

●運営業務委託

要求額 70,021千円 (一般財源 26,856千円)

(R5.9月補正で債務負担行為設定済み)

- ・モデル事業を実施する**栄小**(西区)、**鈴谷小**(中央区)、**岸町小**(浦和区)、**新和小**(岩槻区)における運営委託料。
- ・プロポーザル方式によって運営事業者を決定。

●空調設備設置

要求額 19,040千円 (一般財源 6,348千円)

- ・利用を希望する全ての児童を受け入れるために、既存の放課後児童クラブ専用室に加え、放課後に学校が使用しない**特別教室等を兼用室として活用**
- ・想定利用児童数から、各学校の専用室に加えて、栄小、鈴谷小については**1教室**、岸町小については**2教室を兼用室として確保し、空調を新たに設置**(新和小は空調既設置のため不要)。
- ・兼用室は学校の授業内容やイベント等により使用できない日があるものの、**本事業で優先的に使用できるよう**学校と調整。

【今後の対応】

- ・利用児童数が想定を上回るにより確保した兼用室が不足する場合は、一時的に、**空調が整備された普通教室や図書室等を利用できるよう**教育委員会・学校と調整済み。
- ・利用児童数が想定を著しく上回ることが常態化する場合には、モデル事業の検証結果も踏まえ、追加の人員の手当や空調設置等に係る予算措置を検討。

●機械警備、光熱水費等

要求額 1,125千円 (一般財源 418千円)

- ・専用室の機械警備
- ・専用室及び兼用室の使用に係る光熱水費 等

●今後のスケジュール

- ・R6.1 運営事業者決定
市、学校、運営事業者による協議
- ・R6.1 ~R6.2 利用申込み周知、受付、利用者決定
- ・R6.3 利用者向け説明会
- ・R6.4 運営開始
- ・R6.4~6 兼用室への空調設置

市域全体への順次展開に向けて

令和6年度のモデル事業の検証結果や、**国の動向等**を踏まえ、放課後子ども居場所事業を**市域全体に順次展開**することで、**全ての児童が安心・安全に過ごせる放課後の居場所の確保**を進める。

【課題】

- ・令和6年度モデル事業の検証
- ・令和7年度以降の方向性の検討
- ・民設放課後児童クラブへの支援
- ・余裕教室の確保が困難な学校での専用室の確保

●今後のスケジュール

令和6年度以降

モデル事業の検証

(仮称)放課後子ども居場所事業の基本方針(素案)の作成

- ・本市における放課後児童クラブの現状分析や今後の需要推計
- ・児童の放課後の居場所施策に向けた方向性
- ・放課後子ども居場所事業の導入と民設放課後児童クラブの整備、学校の余裕教室等の改修を組み合わせた施策展開(導入計画)

市域全域への展開